

このまちの未来を
守りたい



夷隅郡市広域市町村圏
事務組合消防本部

全国の女性消防士の割合と夷隅消防



- ・ 全国 5,585名（164,167名） 3.1%
- ・ 千葉県内 257名（8,014名） 3.2%
- ・ 夷隅広域 **2名**（194名） **1.0%**

※夷隅広域消防職員 令和5年7月1日現在
令和8年3月までに女性消防吏員の割合
「5%」を目指しています。



夷隅広域消防本部では、平成29年から女性消防士を採用し、現在「2名」の職員が勤務しており、本部勤務や隔日勤務に従事しています。「男性の職場」と考えられている消防士ですが、訓練や経験を重ねることにより、女性もたくさんの消防業務に就くことができます。

今後も、女性消防士を採用して、「信頼」「安心」できる消防士を育て、住民のニーズに応えられるよう、日々努力してまいります。当消防本部の女性職員の現状を紹介しますので、ぜひご覧下さい。

女性消防士紹介



採用 平成29年
階級 消防副士長
趣味 旅行、ドライブ
資格 救急救命士
大型免許

夷隅消防のここがいい！

一つの事だけでなく、オールマイティに仕事をさせて貰えるので、いろいろな業務に携われ、多くの経験ができる場所です。



採用 令和2年
階級 消防士
趣味 1人映画
資格 中型免許
夷隅消防のここがいい！

若い職員に、何事もチャレンジさせてくれる場所です。

先輩からの一言

平成26年採用



女性職員が一人職場にいただけで、女性ならではの柔らかな印象、親しみやすさや安心感を市民の方へ届けられていると感じています。消防において女性の活躍が住民サービスのいっそうの充実につながると信じています。

平成28年採用

災害や救急の現場では、様々な傷病者に対応しなければいけません。当然、傷病者の中には、男性だけでなく、女性の方もいます。駆け付けた消防隊の中に女性消防隊員がいるだけで、不安が緩和されるといった声を耳にしたことが何度かありました。女性消防士が加わることにより、力強さだけではない、市民への安心感がより一層広がると思います。



平成28年採用



消防は男の仕事！というイメージが強いですが、救急現場は女性隊員が活躍する場です。同性や子供の傷病者に大きな安心感を与え、適格な観察が行えます。救急業務に興味のある方、ぜひ私たちと一緒に市民のために働いてみませんか？

消防という職場は、男性職員が圧倒的に多い職場ですが、女性職員がいると自然と職場の雰囲気良くなった経験があります。3～4人の隊として災害現場で活動する消防には、チームワークが大切で、この雰囲気づくりがとても重要です。職場内だけでなく、災害現場でも女性消防士の必要性を強く感じます。

平成22年採用



消防職員の業務内容



• 消防本部

• 総務課

(庶務係) 消防事務の企画

職員の勤務配置、給与、服務、研修及び福利厚生に関する
こと。

(財務係) 予算及び経理に関すること。

消防施設の整備、装備品の購入及び維持管理に関すること。

• 予防課

(予防係) 危険物の規制に関すること。

火災原因及び損害の調査に関すること。

(指導係) 消防用設備等の設置指導、点検に関すること。

(査察係) 防火対象物の立入検査及び違反処理に関すること。

• 警防課

(警防係) 警防計画、防災計画に関すること。

消防隊、救急隊の装備に関すること。

(情報通信係) 消防通信に関すること。

• 消防署・分署

• 救急係

救急搬送に関すること。

救急講習会の開催など。

• 予防係

防火対象物や危険物施設の査察、各種届出の受理。

学校等への避難訓練の立ち合いなど。

• 警防係

火災等の災害活動に関すること。

消防水利の点検など。

• 救助係

救助隊の活動や各種訓練に関すること。

夷隅広域消防では、水難救助隊も活動しています。

勤務体制



毎日勤務と隔日勤務

	毎日勤務	隔日勤務（2交替制）
勤務時間	8時30分から17時15分まで	8時30分から翌日8時30分まで
	（休憩1時間）	（休憩、休息、仮眠時間あり）
休日	土曜、日曜、祝日、年末年始	8週間について16日
仕事内容	事務処理	災害出動、立入検査、訓練など

※隔日勤務は、24時間拘束となりますが、勤務時間は休憩時間、仮眠時間を除き15時30分（毎日勤務2日分）です。

隔日勤務の勤務体制（例）

	日	月	火	水	木	金	土
1週目	当務①	非番	当務②	非番	当務③	非番	週休
2週目	週休	当務①	非番	当務②	非番	当務③	非番
3週目	週休	週休	当務①	非番	調整休	調整休	当務③
4週目	非番	週休	週休	当務①	非番	当務②	非番

※ 普段は3当務すると休みですが、4週間のうちに必要な休みが確保できない場合は、調整休として休みになります。
この他にも、年次有給休暇（1年以上勤務実績があれば、1年間で20日間。）、特別休暇、夏季休暇（6日間）、病気休暇、慶弔のための休暇などを取得可能です。
このような休暇制度を上手く活用し、休日は趣味を楽しんだり、資格取得のための勉強に励んでいる職員が多いです。

女性施設の紹介

大原消防署



消防本部

現在、大原消防署と勝浦消防署には、女性職員が隔日勤務が出来る様に、女性専用施設が完備されています。

女性専用施設は、2部屋の個室、ユニットバス、洗面台、トイレ、洗濯機、更衣用ロッカーが完備されています。

2署合わせて最大8名が隔日勤務をすることが可能です。女性専用施設はオートロックのため、男性職員は入れません。

また、毎日勤務を行う消防本部内にも洗面台、トイレ、更衣用ロッカーが完備されています。



勝浦消防署



消防職員の服装



制服（冬）



制服（夏）



活動服



救助服



救急服



感染防止ガウン



防火衣



水難ウェットスーツ



訓練風景

・塚本消防士



指揮隊は、災害現場の指示役です。ここで、多くの情報を入手し、各隊に情報を共有します。



救助現場で使うことがある、エンジンカッターの取り扱いを先輩に指導されています。



食事作り

夷隅広域消防では、お昼は各自で弁当などを持参、夕食及び朝食は、職員自らの手で作ります。消防のご飯は、とても美味しいです。料理が未経験な若い消防士でも、先輩方が一から教えてくれるので、心配は要りません。



この日の夕飯はドライカレー、朝食はミートスパゲティでした。





出産子育て制度

仕事と子育ての両立に必要な制度が、夷隅郡市広域市町村圏事務組合の条例及び規則で定められています。

・勤務の制限

妊娠中及び産後1年を経過しない女性職員は、深夜勤務、休日勤務、時間外勤務をしないことができます。

※特別休暇として、つわり休暇（14日の範囲内）、生理休暇も取得可能です。

・経産婦である女性職員が受ける母子健康法に基づく保健指導又は健康診査

妊娠満23週まで 4週間に1回

妊娠満24週から満35週まで 2週間に1回

妊娠満36週から出産まで 1週間に1回

その都度必要な時間

・産前産後休暇

出産予定日前8週間にあたる日（多胎妊娠の場合にあつては、14週間）から出産の日後8週間に当たる日までの期間内休暇を取得することができます。

・育児休業

子供が3歳に達する日まで取得することができます。

・部分休業

1日につき2時間以内で勤務時間のはじめ又は終わりに30分単位で取得できます。

・育児短時間勤務

・時間外勤務免除

・時間外勤務制限

・深夜勤務の制限

・早出遅出勤務 などがあります。

☆夷隅広域消防では、令和3年度にマタニティ服を導入しました。



Q&A



Q 体力面に自信がないのですが、大丈夫ですか。

A 体力は、入庁後の訓練で身につくので心配はいりません。

Q 消防学校ではどのような訓練をしますか。

A 国の基準に基づいた800時間（6か月間）の教育訓練を実施しています。内容は基礎教育、実務教育、実科訓練、その他（視察研修、所属研修など）です。

Q 食事を作ったことがなくても大丈夫ですか。

A 初めて料理をする職員が大半ですが、先輩に教わりながら毎当務（夜、朝）作るので自ずと上達します。

Q 髪型に決まりはありますか。

A 頭髪については、前髪、襟元、耳元ともに短めにしていますが、災害対応に支障がない髪型なら問題ありません。また、最近では頭髪を染めることが一般化していますが、消防職務を遂行する上で頭髪の染色は必要ありません。

Q 悲惨な現場に耐えられるか心配ですが、どう乗り越えていますか。

A 悲惨な現場を目にするのは、初めての人が多いと思います。悲惨な現場に行った際は、上司や同期に話をしてストレスを溜めないようにしています。

Q 女性がつけない業務はありますか。

A 重量物を30kg以上持たせない、有毒ガスが発生する恐れのある現場で活動させない等ありますが、基本的には男性職員と同様の活動が可能です。（労働基準法第64条の3）



説明会、交流会



国際武道大学にて、消防業務説明会を行いました。



JFFW交流会

(Japan fire fighting woman's club)

年に一度のJFFW交流会では、全国から集まった女性消防吏員との研修や、業務に関する情報交換を行えます。

また、同じ悩みを持った方が多く集まっているので、とても有意義な時間を過ごすことができます。その後も、何か困った時に連絡を取り合い、他の消防本部の意見を参考にすることも可能です。

ご覧頂きありがとうございました。
このホームページをご覧頂き、少しでも消防という
仕事に興味が湧いて下されば、幸いです。
何か知りたいことや、気になることがあればいつで
もご連絡下さい。

また、庁舎見学も随時行っておりますので、気軽
にお越し下さい。



私たちと一緒に夷隅広域
消防を盛り上げましょう。
多くの女性消防士を
お待ちしております。

令和5年7月